

# 平成25年第10回片品村議会定例会会議録第1号

## 議事日程 第1号

平成25年12月6日（金曜日）午前10時00分開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 一般質問
- 日程第 5 議案第62号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第3号）について
- 日程第 6 議案第63号 平成25年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第 7 議案第64号 平成25年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

---

## 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 一般質問
- 日程第 5 議案第62号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第3号）について
- 日程第 6 議案第63号 平成25年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第 7 議案第64号 平成25年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について  
(日程第5から日程第7まで一括上程)

会議録1号用紙

片品村議会会議録			第 1 日
平成 2 5 年 1 2 月 6 日			
出席議員 1 3 名		欠席議員 名	欠員 1 名
第 1 番	星 野 栄 二		( 出 席 )
第 2 番	梅 澤 志 洋		( 出 席 )
第 3 番	星 野 精 一		( 出 席 )
第 4 番	飯 塚 美 明		( 出 席 )
第 5 番	千 明 道 太		( 出 席 )
第 6 番	星 野 逸 雄		( 出 席 )
第 7 番	今 井 功		( 出 席 )
第 8 番	戸 丸 廣 安		( 出 席 )
第 9 番	星 野 千 里		( 出 席 )
第 1 0 番	笠 原 耕 作		( 出 席 )
第 1 1 番			
第 1 2 番	星 野 育 雄		( 出 席 )
第 1 3 番	星 長 命		( 出 席 )
第 1 4 番	入 澤 登 喜 夫		( 出 席 )

説明のために出席した者の職氏名

---

村 長	千 明 金 造
副 村 長	萩 原 重 夫
教 育 長	星 野 準 一
総 務 課 長	桑 原 護
住 民 課 長	吉 野 耕 治
保 健 福 祉 課 長	星 野 孝 俊
農 林 建 設 課 長	金 子 賢 司
むらづくり観光課長	木 下 浩 美
教 育 次 長	佐 藤 八 郎
会 計 管 理 者	千 明 建 太 郎
給食センター所長	星 野 一 男

事務局職員出席者

---

事 務 局 長	大 竹 光 一
主 査	金 子 小 百 合

議長（飯塚美明） ただいまから、平成25年第10回片品村議会定例会を開会します。  
本日の会議を開きます。

午前10時08分 開会

---

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

議長（飯塚美明） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、13番 星長命さん及び1番 星野栄二さんを指名します。

---

#### 日程第2 会期の決定

議長（飯塚美明） 日程第2、会期の決定の件を議題にします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から12月13日までの8日間にしたいと思います。

異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日から12月13日までの8日間に決定しました。

---

#### 日程第3 諸般の報告

議長（飯塚美明） 日程第3、諸般の報告を行います。

お手元に配付してあります議員派遣報告書のとおり報告いたします。

これで諸般の報告を終わります。

---

#### 日程第4 一般質問

議長（飯塚美明） 日程第4、一般質問を行います。

通告に基づき、順番に発言を許可します。

8番 戸丸廣安さん。

（8番 戸丸廣安登壇）

8番（戸丸廣安） はい、8番。

皆様、おはようございます。8番の戸丸廣安です。

通告に基づき、防災面から見た国道120号線金精峠の現状と改善について、千明村長に一般質問をいたします。よろしくお願いいたします。

(8番 戸丸廣安 質問席に移動)

議長(飯塚美明) 村長 千明金造さん、答弁席へお願いいたします。

村長(千明金造) はい。  
(村長 答弁席に着席)

8番(戸丸廣安) 議長。

議長(飯塚美明) 8番 戸丸さん。

8番(戸丸廣安) はい。

私は、常日ごろから金精峠の通年往来の必要性を力説している議員の一人です。したがって、一日も早い年間開通を切望する立場からの質問、討議となります。

意思を同じくする方々は少なくないのですが、私は防災面を考慮しても、いや考慮すればこそ、金精峠における冬期閉鎖期間を縮小してもらいたいという論点であります。これこそが防災に強い国道120号線金精峠地点づくりに向けての適切な選択だし、力点だと固く信じております。その点で村長の見解に対し質問します。

まず、1つ目として防災面から見た金精峠の年間開通の必要性と、その効果について村長はどのような考えがありますか。

議長(飯塚美明) はい、村長。

村長(千明金造) はい、村長。

防災面から見た金精峠の年間開通の必要性と効果についてどのような考えであるのかとの廣安議員の質問にお答えいたします。

片品村の主たる道路網は言うまでもありませんが国道が2路線、県道が2路線、村道が1路線、隣接市町村につながっていますが、冬期間は沼田市につながる国道120号線と川場村につながる県道平川沼田線の2路線のみとなり、袋小路のような状態になります。

今年は台風が多くやってきましたが、9月の台風18号では、椎坂、園原、背峰、丸沼が通行止めになるなど、災害はいつ、どこに、どのように起こるかわかりません。今、私たちの生活は道路なくして成り立ちません。道路は災害時は避難路にもなりますし、物資の輸送や救助の際にも大変重要な役割を担っています。

備えあれば憂いなしの言葉がありますが、万が一の有事に備え、金精峠の年間開通は防災面から見ても大事な路線として必要であります。そして、村民の安心安全につながるも

のと考えています。

**8番（戸丸廣安）** 議長。

**議長（飯塚美明）** はい、8番。

**8番（戸丸廣安）** 防災面から見て大事な道路であるということを強調していただきました。その点をよろしくお願ひしたいと思います。

次に、2つ目ですけれども、金精峠の冬期通行の安心安全を確保するために、新たな峠のトンネル形式案が現実的に考えられるものか、村長の考えを聞かせていただきたい。

**議長（飯塚美明）** はい、村長。

**村長（千明金造）** はい、村長。

ただいまの質問に答えさせていただきます。

申し上げるまでもなく、国道120号の道路管理者は群馬県及び栃木県であります。整備計画や管理については、国及び両県で決定することになりますので、一層の安心安全を確保いただくよう、今後も関係者並びに関係機関にお願いしてまいりますつもりであります。

**8番（戸丸廣安）** 議長。

**議長（飯塚美明）** はい、8番。

**8番（戸丸廣安）** 関係機関への働きかけ、よろしくお願ひいたします。

3つ目として、今後の村民、周辺住民、そして観光客等の安心安全を確保するため、防災面を含めた総合的観点で、さらに群馬、栃木両県、そして国のその他関係者の理解を得るようになるのか、村長のお考えを聞かせてください。

**議長（飯塚美明）** はい、村長。

**村長（千明金造）** はい、村長。

先ほどの答弁と重複する部分があると思いますけれども、質問にお答えさせていただきます。

安全安心を確保するために、今後とも両県、そして国、その他関係機関のご理解をいただき、防災面からも対応いただけるよう働きかけを行ってまいりたいと思っています。

8番（戸丸廣安） 議長。

議長（飯塚美明） はい、8番。

8番（戸丸廣安） 働きかけに期待いたします。

最後に4つ目としてですが、村長、金精峠の年間全面通行実現に向けての今後のプランと見通しについてお聞かせください。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

この関係についても、先ほどの答弁と重複する部分があるかもしれませんが、金精峠は群馬県、栃木県にまたがっております。実現に向けては、国及び両県が方向を示し決定するものでありますので、村といたしましては年間開通に向け今後とも鋭意努力してまいり所存であります。戸丸議員を初め、各議員の皆さんのご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

これで戸丸議員への答弁とさせていただきます。

議長（飯塚美明） 8番。

8番（戸丸廣安） 村長から鋭意努力をするという表明を最後いただきました。この点を期待し、冬期を含め英断と説得力による鋭意努力が、今後、年間通行に向かつて、それが早期に実現することを願ひまして、私の一般質問を終了します。

ありがとうございました。

議長（飯塚美明） 次に、12番 星野育雄さん。

（12番 星野育雄登壇）

12番（星野育雄） はい、12番。

皆さん、おはようございます。

通告に基づき、教育長と村長に質問いたします。

まず、教育振興対策について3点、教育長に質問します。

1つは閉校する小学校のあゆみの編さんと発行をする必要があると思うが、教育委員会としてどう対応するのか。

2つ、村の交通体系の見直しとあわせたスクールバス運行計画はどこまでできたのか。

3つ、閉校小学校の跡地を利用して病院と連携した特別養護老人ホームの誘致、歴史民俗資料館の開設、勉強合宿等に活用する考えはあるか。

次に、農業所得の向上対策について3点、村長に質問します。

- 1つ、鳥獣害防止柵を来年度どこへ何キロメートル設置する計画か。
- 2つ、農業者と消費者が直結した販売体制をいかに拡大していく考えか。
- 3つ、農業の六次産業化をどのように進めていく考えか。

詳細な質問は質問席で行いますので、よろしく願いいたします。

(12番 星野育雄 質問席に移動)

**議長（飯塚美明）** まず、教育長 星野準一さん、答弁席へお願いいたします。

**教育長（星野準一）** はい。

(教育長 答弁席に着席)

**議長（飯塚美明）** 12番 育雄さん。

**12番（星野育雄）** 教育振興対策について。(1)閉校する小学校のあゆみの編纂と発行をする必要があると思うが、教育委員会としてどう対応するかであります。片品小学校は平成28年4月1日に4つの小学校が1校に統合されます。片品小学校は明治6年から8年に開校されました。現在までに旧3分校のあゆみ、片品小学校100年史、東小川分校のあゆみ、越本分校のあゆみ、片品北小学校のあゆみが廃校や30、50、100周年記念事業で各学校やPTA及び地域の人々の努力と、片品村教育委員会の支援によって発行されています。こうした中で、武尊根小学校と片品南小学校の学校史は発行されていません。

武尊根小学校では平成27年11月15日の開校記念日に開校140周年、独立50周年記念誌の発行と記念事業をするために、武尊根小学校独立50周年記念事業実行委員会の設立総会を今年12月に予定しています。

片品南小学校及び片品北小学校でも記念誌の編集、発刊を計画していると聞いています。

編纂は学校と地域住民で行いますが、発刊のためには多額の経費が必要です。その費用を教育委員会で予算化し、全ての小学校の記念誌が統合前に編纂と発行ができるように村費を確保すべきだと考えますが、いかがでしょうか。

**議長（飯塚美明）** 教育長。

**教育長（星野準一）** はい、教育長。

それでは、星野育雄議員のご質問に対しまして、通告要旨に基づきお答えをさせていただきます。

まず、廃校する小学校のあゆみの編纂と発行をする必要があると思うが教育委員会としてどう対応するかについてでございますけれども、廃校に伴い必要とする記念事業、ある

いは記念行事につきましては、各学校がそれぞれの地域と検討、協議をして行って欲しい旨、各学校長にお願いをしまして、現在これに沿って各学校で対応をしています。

なお、実施に伴い必要となる費用につきましては、応分の負担をする考えでございます。以上です。

**議長（飯塚美明）** 12番。

**12番（星野育雄）** （2）に移ります。

村の交通体系の見直しにあわせたスクールバス運行計画はどこまでできたのかであります。小学校統合にあわせて、村の交通体系の見直しをする専門部会で村全体の交通体系をいかに再編成するか研究、討議されてきたと思いますが、現在までの進捗状況を伺いたい。

また、来年4月の片品小学校の一部統合に伴う、片小児童を北小に送迎するスクールバスの運行計画はどのようになっているのでしょうか。

**議長（飯塚美明）** はい、教育長。

**教育長（星野準一）** はい、教育長。

同じく通告要旨に基づきお答えをさせていただきます。

村の公共交通体系の見直しとあわせたスクールバス運行計画はどこまでできているのかについてでございますけれども、片品村の公共交通体系の見直し作業につきましては、むらづくり観光課で担当することとし、現在の片品村にとって必要で好ましい公共交通体系の方針を定めるため、これから具体的な作業に入るところでございます。

以上です。

**議長（飯塚美明）** 12番。

**12番（星野育雄）** もう一点の来年4月の片品小学校一部統合に伴う片小児童を北小に送迎するバスの運行計画はどのようになっているかについて答弁願います。

**議長（飯塚美明）** はい、教育長。

**教育長（星野準一）** はい、教育長。

来年度からの現在の片品小学校児童送迎につきましては、村内輸送業者3社にお願いし、計6台の車両を使って輸送するように計画をし、既に3社とは契約が完了し、4月の始業式から輸送するように作業が進んでおります。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、12番。

12番（星野育雄） （3）番に移ります。

閉校小学校の跡地を利用して、病院と連携した特別養護老人ホームの誘致、歴史民俗資料館の開設、勉強合宿等に活用する考えはあるかでございますが、本村の人口は4,968人で、高齢化率30パーセントです。このまま推移すると10年後には3,000人台に減少し、高齢化率40パーセントになると推計されています。

今後、村は高齢者福祉の拡充に力を入れなければならないと考えます。要支援、要介護認定者が増加する中で、病院と連携した特別養護老人ホームを誘致する必要があると思います。そのためには来年度、村が策定する第6期介護事業計画に特養計画を立て、群馬県の第6期介護事業計画に盛り込まれなくてはなりません。

現在、特別養護老人ホームの建設計画がある病院は、利根保健生活協働組合の利根中央病院と、社会福祉法人尾瀬長寿会です。尾瀬長寿会では、武尊根小学校跡地を利用して増設したいと11月25日の第2回自治協議委員会で聞きました。

村内に特養が増設されれば、高齢者福祉が拡充されるだけでなく、若者の働く場ができ、人口増加につながると思います。

閉校小学校の跡地を利用して病院と連携した特別養護老人ホームの誘致や歴史民俗資料館の開設、勉強合宿等に活用して、村を活性化するよい機会です。村は今後どのように跡地利用を考えていますか。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

閉校する小学校の跡地利用についてのご質問ですが、閉校する各小学校の跡地利用につきましては、地元とよく協議し、必要で実現可能なものについて整備をしていきたいと考えております。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、12番。

12番（星野育雄） ありがとうございました。

次に、村長をお願いします。

議長（飯塚美明） はい。

村長 千明金造さん、答弁席へお願いします。

村長（千明金造） はい、村長。  
（村長 答弁席に着席）

議長（飯塚美明） はい、12番。

12番（星野育雄） 2番として、農業所得の向上対策について村長に伺います。

（1）鳥獣害防止柵を来年度どこへ、何キロ設置する計画かでございますが、村全体の鳥獣害被害を防止するためには、各集落を鳥獣害防護柵で囲み、各集落を囲んだ鳥獣害防護柵を全てつなぐ必要があります。そのためには、農林水産物被害と人の命と安全を守るために、地域鳥獣害防止対策事業実施に伴う土地使用承諾書を片品村長に提出し、片品村と群馬県で予算を確保しなければなりません。来年度どこへ何キロメートル設置する計画ですか。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

ただいまの星野育雄議員の質問にお答えいたします。

野生鳥獣による農作物の食害や踏み荒らしなどによる被害は広域化、深刻化しており、本村においても多大な影響を受けているところであります。収穫目の前の被害は営農意欲の衰退、耕作放棄地の増加などをもたらし、これがさらなる被害を招く悪循環を生じさせるなど、被害金額にあらわれる以上の影響を及ぼしているものと考えられ、その対策には大変苦慮しております。鳥獣被害は農家にとっても大変深刻な問題であり、あわせて地域経済の存続を脅かす重大な問題となっております。

このような事情を背景に、平成6年度から国・県の補助事業を活用し、鳥獣害防止柵設置事業に取り組んでまいりました。本村においても、昨年度までに設置した防護柵の総延長は約35キロメートルとなっております。

ご質問いただきました来年度の設置計画ですが、まず今年度に摺淵地区と花咲赤倉地区に約1,500メートル、そして来年度には引き続き摺淵地区と花咲赤倉地区に約2,400メートルを設置する予定であります。

現在実施している地区を優先に順次事業を実施していく予定ですが、各地区の要望の状況を見ながら、より効率的な有害鳥獣の侵入が防止できるよう事業を進めてまいりたいと考えております。

議長（飯塚美明） はい、12番。

12番（星野育雄） はい。

次に、（2）に移ります。

農業者と消費者が直結した販売体制をいかに拡大していくかでございますが、農業は生産、加工、販売までしなければ、なりわいとは言えません。しかし、長い間農家は生産だけに励み、加工、販売は商人に任せてきたため、農産物の所得率は30%前後でした。村は農業の所得率を高めるために、農業者と消費者が直結した販売体制をいかに拡大していく考えかお聞きしたい。

**議長（飯塚美明）** はい、村長。

**村長（千明金造）** はい、村長。

ただいまの質問にお答えさせていただきます。

片品村でとれる農作物はトマトやトウモロコシ、カボチャを初め、とても味のよいのが生産されると好評を得ています。生産者にとってはJAを通じた出荷だけでなく、加工業者やレストラン、スーパーなどと直接取引をしているところもあります。

片品村では、農業と観光は基幹産業であり、農業と観光を絡めた取り組みは大切であると常々思っているところであります。消費者であり観光客でもある来村者に、片品村の農産物を大いに買っていただき、食していただきたいと思っています。

そのためには気軽に買える直売所が必要であり、本村ではトウモロコシ街道沿いにある直売所などが広く知られています。また、村施設として、村振興公社とともに農産物販売組合が運営する直売所は、花の駅とかたしなやがあり、192名の組合員の方たちが農作物等を出してくれています。利用する方も、訪れるお客さんだけでなく、ペンションや民宿の方など利用していただき、宿泊客等に地元食材として提供していただいております。

さきに行った片品村総合計画住民アンケートにおきましても、直売所や道の駅整備の要望が多い結果となりました。

花の駅直売所については、この春、屋根をつけて利用しやすいようにし、かたしなやについては2シーズン目となり、利用客や販売額も増えてきています。かたしなやについては、シンボルプロジェクトの先導的取り組み事業としてできるところから始めさせていただきましたが、今後、シンボルプロジェクトの事業全体の中で、新たな直売所の整備を含め、道の駅化などを視野に、さらに充実を図れるよう検討を深めていきたいと考えています。

また、直売所のほかにも、交流自治体でもある蕨市などと、今年の夏には野菜の宅配制度やインターネット販売を実施したところであり、今後、検証を行い、さらなる拡充を検討してまいりたいと考えていますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

**議長（飯塚美明）** はい、12番。

**12番（星野育雄）** 次に移ります。

(3)で農業と六次産業化をどのように進めていくかでございますが、川場村は昭和56

年に世田谷区と相互協力協定書を締結し、昭和61年に世田谷区民健康村開村、平成4年に友好の森開設、平成5年に、株式会社田園プラザを発足させました。今では年間100万人以上が訪れる関東の好きな道の駅ランキング1位となり、消費者との絆でつくる農業再生を実現しています。

また、榛東村では農業生産から加工品製造、販売まで行う六次産業化を村全体で推進するため、同村をアグリタウンとして整備する方針を固め、民間と協力し加工品販売所の整備をし、観光振興と地域活性化を図ると報道されました。

片品村は農業の六次産業化をどのように進めていくか考えをお聞きしたい。

**議長（飯塚美明）** はい、村長。

**村長（千明金造）** はい、村長。

ただいまの質問にお答えさせていただきます。

農業と観光が主産業の片品村にとって、農業と観光を絡めた取り組みは大切なことであり、六次産業化の推進もまさにその一つであり、総合計画プロジェクトの中にも位置づけ取り組んでいるところであります。行政として可能な範囲で積極的に支援してまいりたいと考えています。

具体的には、昨年度には六次産業化の支援として、国・県ではきめ細かな補助制度がなかったために、村独自の補助制度をつくり支援を行いました。

また、専門家を招いて勉強会などを行うとともに、参加者から意見を聞き、販路拡大や尾瀬ブランド品のPRなどに努めているところであります。

六次産業化を進めるには、取り組む意欲のある事業主が不可欠であり、村独自の補助制度は、施設や機械の整備、試作品の研究など幅広く対応できる内容となっていますので、考えられる事例を紹介しながら、農家や住民団体などに周知を行い、事業の掘り起こしなどに努めていきたいと思っております。

あわせて、販路の拡大が大切となってきますので、直売所の一層の充実化、インターネット販売やお届けパック販売などに継続して取り組んでまいりたいと考えています。

また、農産物加工品をつくるのが六次産業化の中でも主なものとなっていますが、農家レストランや観光農園なども含め幅広く考え、段階的ではありますが、取り組めるところから取り組んで、しっかりと着実に前進を図っていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます、星野育雄議員への答弁とさせていただきます。

**議長（飯塚美明）** はい、12番。

**12番（星野育雄）** どの項目に対しても前向きな姿勢でやろうと、取り組むという答弁をいただきありがとうございます。

以上で私の質問は終わります。

議長（飯塚美明） 以上で一般質問を終わります。

---

日程第5 議案第62号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第3号）について

日程第6 議案第63号 平成25年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第7 議案第64号 平成25年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

議長（飯塚美明） 日程第5、議案第62号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第3号）についてから、日程第7、議案第64号 平成25年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてまでの以上3件を一括議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

議案第62号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第3号）について提案の説明を申し上げます。

既定の予算総額に2,425万9,000円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ4億6,329万3,000円にお願いするものであります。

歳入については、地域の元気臨時交付金、地方交付税の増額と過疎対策事業債、単独災害復旧事業債の減額であります。

歳出の主なものについては、総務費、民生費、商工費、教育費などの増額と、衛生費、中学校費の減額であります。

なお、詳細につきましては担当課長に説明をさせますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議案第63号 平成25年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）について提案の説明を申し上げます。

既定の予算総額に153万6,000円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ4億7,746万3,000円にお願いするものであります。

歳入につきましては、特別徴収保険料の増額であります。

歳出の主なものにつきましては、高額介護サービス費等の増額であります。

なお、詳細につきましては担当課長に説明をさせますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議案第64号 平成25年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について提案の説明を申し上げます。

既定の予算総額に77万2,000円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ5,497万6,000円にお願いするものであります。

歳入につきましては、繰入金及び諸収入の増額であります。

歳出につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増額であります。

なお、詳細につきましては担当課長に説明をさせますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

**議長（飯塚美明）** 議案第62号から議案第64号までの質疑以降については、後日の本会議において審議をいたします。

---

**議長（飯塚美明）** 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時47分 散会